2025 年 8 月中旬配本予定

# 秘かに青く、深く

## 鈴木正枝 著

A5 変形・並製／ 88 頁／定価 2,000 円+税
ISBN978-4-908568-54-1　C0092　¥2000E

ひとつのベンチで、部屋で、ひとつの時を、視野を、分かち合う。
やがて、それが断たれる日、独りの眼差しに誘われるもの。
前詩集『そこに月があったということに』で第 13 回日本詩歌句随筆評論大賞詩部門大賞受賞した鈴木正枝第三詩集。
装幀＝稲川方人。

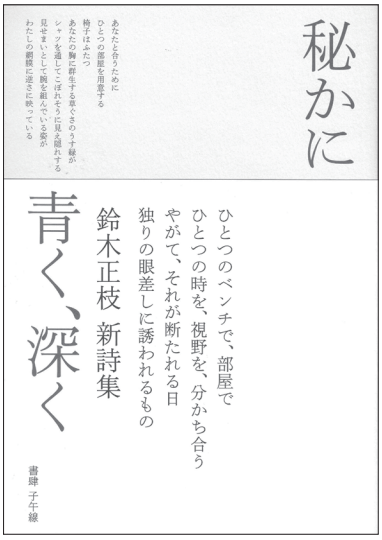
---

あなたの大きく見開いた眼が
わたしの視線を切り落とし
何かが壊れてはらはらとこぼれ落ちる
それはふたりの肩に
少しゆるんだ言い訳のように降り積もり
耐えきれない沈黙の端がほころびて
床がゆっくりと濡れていく
（「共有される沈黙」より）

---

**鈴木正枝**（すずき・まさえ）

茨城県出身。横浜市在住。
『そこに月があったということに』（2016 年、書肆 子午線）で第 13 回日本詩歌句随筆評論大賞詩部門大賞受賞。
その他の詩集に『キャベツのくに』（2010 年 ふらんす堂）。
詩誌「タンブルウィード」「天国飲屋」「るなりあ」同人。




目次

I　ひとつのベンチで／共有される沈黙／落日のあとで／とわの一枚／崩れいく果実／人影の窓／シンフォニーのとき／離岸／不等式の命題に、微風が／つくられてしまう関係／返信／逸らされた視線／無名の地まで／ある対話のかたち／無伴奏
II　カルデラ地帯／厳冬夜／笛をたずさえ／限りなく透視して／消失点のゆくえ／帰っていく／塔へ／ブロッコリーの青空／投げ返されるもの／野に立ちて／耳のかたちに／小さく白い／屈折していく方角／たとえば花／秘かに青く／ふたつの位置
あとがき

▶ご注文はツバメ出版流通まで　FAX 03-3721-1922
TEL 03-6715-6121　E-mail info@tsubamebook.com　http://tsubamebook.com

| 貴店名（番線印）<br><br>ご担当　様 | 書肆子午線 新刊<br>info@shoshi-shigosen.co.jp<br>返品条件注文扱い　返品了解 ツバメ出版流通：川人 | |
|---|---|---|
| | ご注文数<br><br>冊 | 秘かに青く、深く<br>ISBN978-4-908568-54-1　C0092<br>A5 変形・並製／ 88 頁／定価=本体 2,000 円+税 |